



## ～留学期間の半分を経て～

留学期間の9ヶ月弱の半分、4ヶ月半が過ぎてしまいました。時間が過ぎていくのは本当にあっという間な気がします。フランスでの生活はだいぶ慣れてきました。普段の生活は問題なく生活することが出来ており、何か言われたとしても基本的に理解でき、知らない単語などがある場合でも、説明をされればわかるくらいにフランス語は上達しています。

授業は半分くらいは理解していると思います。しかし、テストを受けたりするとなると日本と少し形式が違うため少しまだまだ力不足な感じがします。言語については今までいた期間で本当に頑張ったので、ここ最近周りの人やAFSのボランティアの方々、加えて言語上達に伴ってできた新しい友達など様々な人から「フランス語上手に話すね！」と褒められます。何かを書く時とかにも、筆記体で書いた時に「僕たちのように書くじゃないか！」と驚かれたりしてとても嬉しいです。最近よく感じる問題として、話の途中とかにパッと言えなかったり、すぐに声をかけられなかったりするという、瞬間作文能力や失敗を恐れない勇氣などの問題が新しく出てきました。これらを残りの期間で頑張ることができるようにしたいです。

## ～こちらで学んだこと～

フランスに来てから、もっと人と過ごす時間、特に家族や親族との時間を大切にしようと思いました。フランスは家族愛がとても強いです。夕ご飯は基本的に全員揃って食べるし、お買い物などもみんな揃って行きます。家族によって差はあると思いますが、基本的に皆家族との仲は凄くいいし、自分たちの意見をハッキリと言ったりするので、お互いの理解が深いです。逆にそれが高じて言い合いになったりする事は多々ありますが、すぐに仲直りをしています。僕は日本にいる時はあまり友達と外に遊びに行ったりせず、基本的に家にいることが多かったです。家にいる時は一人でなにかをすることが多かったので、帰国したらもっと自分の家族と時間を過ごしたり、家のことを手伝ったりしたいです。

## ～ホームシックやカルチャーショックについて～

こちらに来てからホームシックにはなっていないです。日本にいる家族や友達は少し恋しいですが、こちらでも沢山友達が出来ているため、もう少ししたら会えるという感覚でしょうか。フランスの料理は日本食に匹敵するくらい美味しいので、食事が原因で体調不良になったり、体が受け付けなかったり等といったことは1度もないです。カルチャーショックとして挙げるとするならば、水道水の水が飲めないため、気軽に水を飲めないのは少し不便ですが生活していくうちに慣れました。

それに加えてフランス、というよりも恐らくヨーロッパでは日本のように家で浴槽にお湯を沸かしてそこに入るという文化がないため、シャワーを浴びるだけです。水の節約にはなりますが、やはり湯船に浸かりたいとは思っています。年明けてすぐくらいに髪をバツサリ切った(剃った?)ため今はあまり困ってはいませんが、切る前までは時間管理など大変でした。

残りの期間、こちらの生活を全力で楽しみたいと思います！

最後までご覧頂きありがとうございました。